

第21回 関川流域委員会

意見募集・住民説明会結果とその対応について

令和3年3月
北陸地方整備局 高田河川国道事務所

1. 意見募集

- 令和2年12月23日の第20回関川流域委員会にて「Bルート(西側ルート)が優位であると判断」との意見が示されたことに対し、保倉川放水路の検討に活かすことを目的として、地域住民の意見募集を行った。
- 募集期間は令和3年2月22日(月)～3月28日(日)の約1ヶ月間
- 募集方法は、ホームページ、関係窓口での資料配付、住民説明会を行った。

第20回関川流域委員会の内容についてA3両面のパンフレット形式による説明資料を作成した。これを関係機関の窓口及び住民説明会で資料を配布し、意見募集を行った。また、ホームページの意見フォームも開設して意見募集を行った。

説明資料 (A3パンフレット形式)



資料配付状況



上越市北出張所入口



高田河川国道事務所
1階ロビー



上越市河川海岸砂防課



上越地域振興局 3階入口



八千浦交流館はまぐみ窓口



上越市頸城区総合事務所

HP上での意見募集

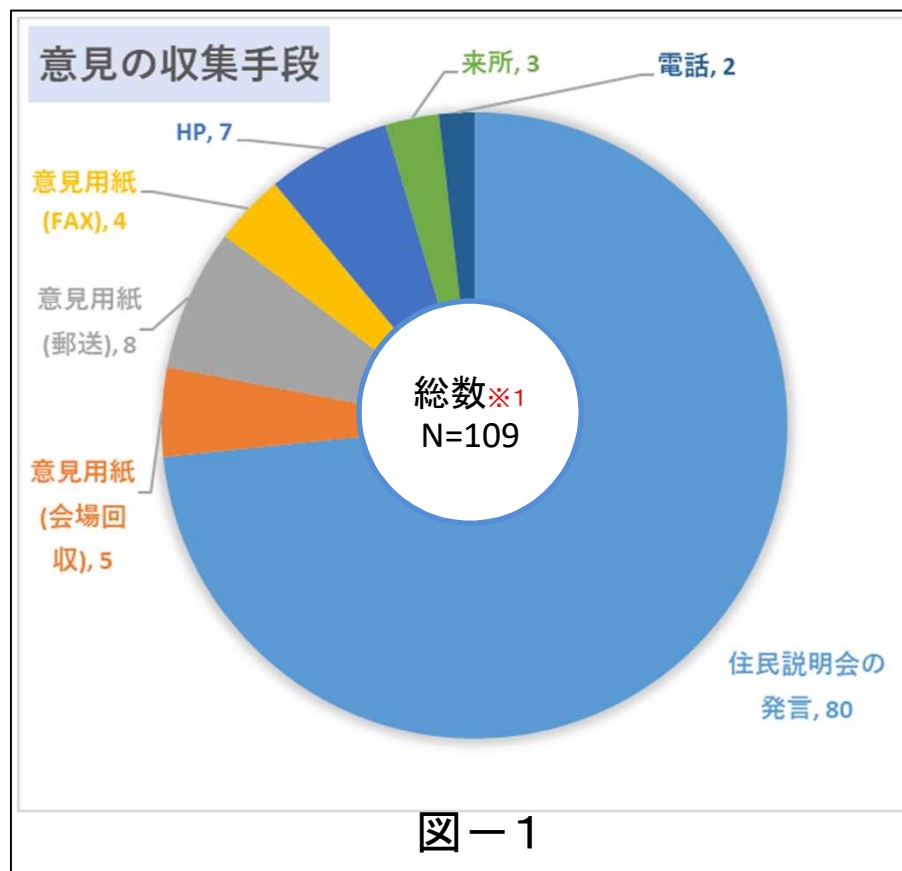


市民プラザ 1階ロビー

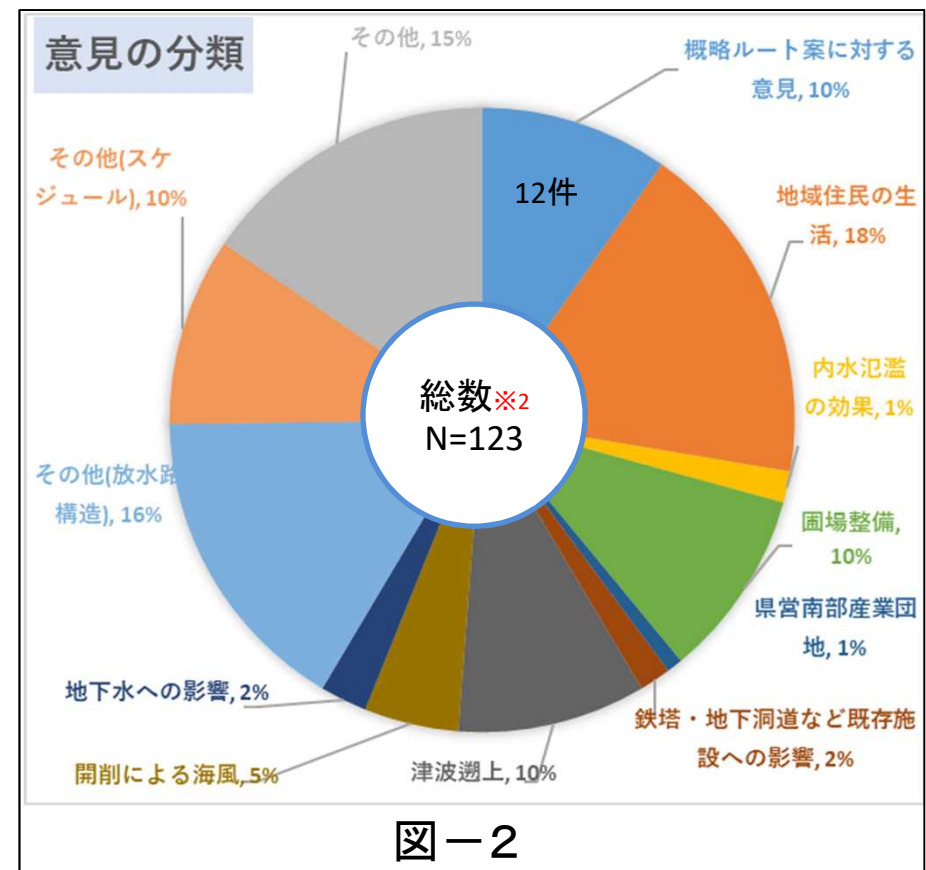
意見募集についての記者発表後、新聞3社、ネット情報1社掲載有り

2. 意見集計結果

- 意見の受付数は109件で、そのうち住民説明会での意見が80件であり、積極的に行った説明会の効果が大きい結果であった。(図-1)
- 住民説明会の他に、意見用紙の郵送・FAX、メール、電話の他、事務所に直接来所された方がいた。中には複数枚に渡って意見を記入される方もいた。
- 意見は、「概略ルート案に対する意見」を募集したが、該当する意見は10%(図-2)と少なく、地域住民の生活への懸念や放水路構造、スケジュール等の意見が大半を占めた。



※1 意見の手段においては、「住民説明会の発言」は意見数(80)意見用紙等は、受付数(29)で集計している



※2 意見の分類においては、「住民説明会の発言」は意見数(80)、意見用紙等は、意見数(43)で集計している

3. 住民説明会 実施報告

- 住民説明会は令和3年2月22日～3月25日の間に5箇所で開催した。
- 出席人数は合計で 237人であり、多くの方に参加していただいた。

地区	日時	場所	参加人数	開催案内等の周知
夷浜地区	2/22 (月) 18:30～	八千浦小学校体育館	123名	336世帯
浮島地区	3/ 4 (木) 19:00～	町内会館 (四ツ浮会館)	12名	8世帯
八千浦地区	3/12 (金) 19:00～	八千浦交流館はまぐみ	33名	1,339世帯
下三分一地区	3/14 (日) 9:30～	下三分一公民館 (徳専寺)	28名	40世帯
南川最寄地区	3/25 (木) 19:00～	頸城公民館南川分館	41名	1,516世帯



夷浜地区(2/22)



浮島地区(3/4)



八千浦地区(3/12)



頸城土地改良区(3/19)



下三分一地区(3/14)



南川最寄地区(3/25)

関係団体へも説明
しています
○八千浦区地域協議会
○頸城区地域協議会
○頸城土地改良区



頸城区地域協議会(3/24)

3. 住民説明会 開催報告(夷浜地区 2/22)

- 日時: 令和3年2月22日(月) 18:30~19:45
- 場所: 上越市立八千浦小学校体育館
- 参加人数: 123名
- 説明者(国、県、市): 6名
- 周知人数: 336世帯



分類	意見・質問について (12件)
地域住民の生活	◆ 懸念事項について津波の想定をしているが、もし万が一さらに上回ったものが来た場合の補償はされるのか。塩害、JRの鉄橋の騒音被害などデメリットしかない気がするが。それによる土地の資産価値が下がる。この地域に治水対策を押し付けることについてもどう考えているのか。
圃場整備	◆ 放水路内の海水により周りの田んぼなどに塩害はないのか。
津波遡上	◆ 津波に関しL1とはどのような規模の想定なのか。
地下水への影響	◆ 夷浜地区は、きれいな地下水(4m程度井戸)を使用している。放水路により地下水が分断されることで、影響はないのか。
その他 (放水路構造)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 川幅100m想定とあるが、深さはどのくらいなのか(2件)。 ◆ イメージ図で普段は海水でおおわれているとなっているが、海と放水路の境に堰は設けないのか。 ◆ 川幅100mを想定とあるが、堤防等を含めるとどれくらいの幅となるのか。なお、砂丘を削るなら、もっと川幅が大きいのでないか。 ◆ 橋は何か所できるのか。
その他(スケジュール)	◆ これからの予定を具体的に聞きたい。工事はいつするのか。国・県・市はどのような仕事をするのか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民説明会は土日にするべきでないか。住民に参加してほしいと言っているがこの時間では参加しづらいし、形だけの説明会の印象がある。日程はどのように考えているのか。 ◆ 温暖化の影響もあるため、別の方法(ポンプ排水等)も考えたらどうか。

【夷浜地区 住民説明会とりまとめ】

- 具体的な放水路構造、放水路工事による影響について、知りたい方が多かった。
- 今後の予定(いつ頃移転が必要になるか等)を心配する声もあり、スケジュールを懸念されていた。
- 概略ルート案の「Bルート(西側ルート)が優位であると判断」に対する意見はなかった。

3. 住民説明会 開催報告(浮島地区 3/4)



- 日時: 令和3年3月4日(木) 19:00~20:45
- 参加人数: 12名
- 周知人数: 8世帯
- 場所: 四ツ浮会館
- 説明者(国、県、市): 9名

分類	意見・質問について (11件)
内水氾濫の効果	◆ この地域では大きな台風が来ると用水が溢れるといったことが何度も起きている。内水を排除するポンプは放水路ができれば必ず設置して欲しい。浮島地区は地域の内水軽減の恩恵がある前提でないと協力できない。
圃場整備	◆ 放水路と交差する用排水路の処理計画を明確にしてほしい。排水路を放水路の川底に通す(サイフォン)計画はありえない。
津波遡上	◆ 河口部には津波対策の施設を設置して欲しい。 ◆ L1 津波とあるがどれくらいの規模なのか。 ◆ 柏崎原子力発電所は大きな防潮堤を作っている。放水路にも欲しい。 ◆ L2 津波に対してのシミュレーションはしているのか。 ◆ 活断層と地震の関係を研究している研究者から、どんなに大きい防潮堤を設置しても津波には耐えきれないと聞いた。地域を守るために土地は売らないし、放水路は絶対反対。
鉄塔・地下洞道など 既存施設への影響	◆ 放水路河口部に導流堤は設置しないのか。突堤に影響するか心配である。
その他 (放水路構造)	◆ 最大の200m幅で放水路が完成すると、浮島地区は3軒しか残らない。幅は狭くして欲しい。 ◆ 放水路分派点は固定堰で確定なのか。 ◆ 放水路は分派点まで海水で覆われるのか。

【浮島地区 住民説明会とりまとめ】

- 浮島地区は、放水路が出来ることにより、集落の存続に関わる問題なので、幅は狭くして欲しい等の意見があった。
- 津波遡上による影響対策と圃場周辺の湛水被害軽減の確実性を強く望まれていた。
- 概略ルート案の「Bルート(西側ルート)が優位であると判断」に対する意見はなかった。

3. 住民説明会 開催報告(八千浦地区 3/12)

- 日時: 令和3年3月12日(金) 19:00~19:45
- 場所: 上越市八千浦交流館はまぐみ
- 参加人数: 33名
- 説明者(国、県、市): 5名
- 周知人数: 1,339世帯



分類	意見・質問について (6件)
圃場整備	◆ 潟川、農業用水路等の現況水路と放水路との兼ね合いはどのようになるのか。
津波遡上	◆ 放水路を作ったことにより生じるリスク(津波の遡上)への対応策はあるのか。
開削による海風	◆ 放水路を作ったことにより生じるリスク(海からの強風、水路への転落等)への対応策はあるのか。
その他 (放水路構造)	◆ 放水路の諸元(水路幅、掘削の深さ、最大水位、地盤高との兼ね合い、用地幅はどれくらい確保するか等)をもっと具体的に知りたい。 ◆ 現在、国道8号、信越本線や農道等の生活に必要な重要な交通網が多くあるが、放水路によって分断された場合、橋はどこに何ヶ所設置するのか。
その他 (スケジュール)	◆ 放水路完成までのスケジュール(家屋移転、道路、線路移設の工程なども含めて)を知りたい。

【八千浦地区 住民説明会とりまとめ】

- 放水路構造や今後のスケジュール等に対する質問があった。
- 概略ルート案の「Bルート(西側ルート)が優位であると判断」に対する意見はなかった。

3. 住民説明会 開催報告(下三分一地区 3/14)



- 日時: 令和3年3月14日(日)9:30~11:00
- 場所: 下三分一公民館(徳専寺)
- 参加人数: 28名
- 説明者(国、県、市): 9名
- 周知人数: 40世帯

分類	意見・質問について (15件)
地域住民の生活	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住居移転の問題はもちろんだが、畑など農地の今後の予定が立たなくて困っているので考えて欲しい。 ◆ 全国で保倉川放水路と似た事例があれば、完成期間や橋の数を示して欲しい。 ◆ 工事が始まれば国道8号は使用できなくなるのか。
圃場整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 用水路、排水路系統はどのように考えているのか。
津波遡上	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 河口部に津波対策施設は作るべきだ。
その他 (放水路構造)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放水路の断面幅は確定しているのか。 ◆ 新堀川で矢板がさびてポロボロになっているが矢板の耐用年数はどれほどか。
その他 (スケジュール)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放水路案が確定したことは理解したが、完成目途や用地買収はいつ頃なのか。 ◆ 将来設計の目途が立ちにくいというのが一番の不安。多少の変更が生じることは仕方のないことだと思うので、より早く大きなスケジュールを示していただくことによって具体化していただきたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 説明会資料は町内へ事前に配布を行い周知してほしい。 ◆ 放水路事業は長い年月を要することは承知しているが、国・県の方々は異動時に私達と交わしたことはしっかりと引き継ぐようにして欲しい。 ◆ 放水路事業に伴う振興策はどのように考えているのか。 ◆ 放水路は災害対策施設としての役割以外にも、地域活性化のための発展性がある。住民と密に情報共有して頂き進めて欲しい。 ◆ 放水路内の堆砂はどうするのか。 ◆ 保倉川河道内で樹木が生い茂っている状況を見ると放水路もそうならないか心配。せっかく作るのだから、維持管理は一元化してしっかりと行って欲しい。

【下三分一地区 住民説明会とりまとめ】

- 具体的な放水路構造やまちづくりなどに対する意見や質問があった。
- 将来設計のために強くスケジュールの提示を求める意見があった。
- 概略ルート案の「Bルート(西側ルート)が優位であると判断」に対する意見はなかった。

3. 住民説明会 開催報告(南川最寄り地区 3/25)

- 日時: 令和3年3月25日(木) 19:00~20:30
- 場所: 頸城公民館南川分館
- 参加人数: 41名
- 説明者(国、県、市): 7名
- 周知人数: 1,516世帯



分類	意見・質問について (16件)
地域住民の生活	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ルートの位置を具体的に教えてほしい。どこまでが影響範囲なのかこの資料ではわからない。 ◆ 現況の貯水池を活用して住宅地への影響をなくすべき。 ◆ 住宅地に影響しないよう、渦川を改修することで洪水対策に利用できないか。 ◆ 保倉川放水路を作るとなると、影響範囲の住民の人生設計が大きく変わってしまう。ルートが決まったらより具体的に示してほしい。また、スピード感を持って進めてほしい。
内水氾濫の効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大雨が降るたびに浸水しているので早く完成させてほしい。
圃場整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 南川用水路と放水路との兼ね合いはどうなるのか。また、南川用水路もよく溢れるので併せて対応してほしい。
津波遡上	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 津波(L1津波)の影響がないことは分かったが、それを超える規模の津波が来た場合、放水路から溢れることはあるのか。また、その場合の対策はあるのか。 ◆ L1津波とはどのような規模の想定なのか。 ◆ 想定外の津波が来て放水路が決壊した場合、関川、保倉川、放水路、海によって4方向を囲まれてしまう。とても不安なので、対応策を示してほしい。
開削による海風	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Aルートに関して風の影響が大きい要因は何か。
その他 (放水路構造)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放水路の勾配はどの程度なのか。 ◆ 普段は保倉川の水を放水路に流さず、洪水時のみ放水路を使用する計画としているのはなぜか。
その他 (スケジュール)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放水路の完成はいつになるのか。 ◆ いつルート案が決まるのか。また、住民が決定案を知ることができるのはいつになるのか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放水路によって生じる地域の分断への対策を示してほしい。 ◆ 20年、30年先の安全も大事だが、それまでに洪水が起きたらどうするのか。何か対策を進めているのか。

【南川最寄り地区 住民説明会とりまとめ】

- 住宅への影響やスケジュールに対する意見が多い。
- 津波遡上に関する質問や、現状の浸水への不安等より早く完成させてほしい等の意見があった。
- 概略ルート案の「Bルート(西側ルート)が優位であると判断」に対する意見はなかった。

3. 住民説明会 開催報告(関係団体)

八千浦区地域協議会

- 日時: 令和3年3月17日(火)18:30～
- 場所: 上越市八千浦交流館はまぐみ
- 参加人数: 12名
- 説明者(国、市): 4名

頸城土地改良区

- 日時: 令和3年3月19日(金)16:00～
- 場所: 頸城土地改良区
- 参加人数: 13名
- 説明者(国、市): 7名

頸城区地域協議会

- 日時: 令和3年3月24日(水)18:30～
- 場所: 頸城区総合事務所
- 参加人数: 13名
- 説明者(国、市): 4名

分類	意見・質問(八千浦区地域協議会) (8件)
圃場整備	◆ 田へ塩害や潟川の海水遡上はどうか。
鉄塔・地下洞道など既存施設への影響	◆ 火力発電・地下洞道・鉄塔への影響はないか。
その他(スケジュール)	◆ Bルート of 放水路完成は何年先となるか。◆ 放水路掘削までの事業実施手順を教えて欲しい。
その他	◆ ルート決定後、まちづくりについて検討し示してほしい。まちづくり検討に係る組織づくりも必要である。 ◆ 海水遡上による釣り堀としての利用を期待している。◆ その他 2件(橋梁数、河口閉塞)

分類	意見・質問(頸城土地改良区) (9件)
地域住民の生活	◆ 同様の放水路の事例があれば教えてほしい。
圃場整備	◆ 放水路が海水で満たされ、常時は固定堰で保倉川の水が供給されないことで、田への影響や悪臭が懸念される(2件) ◆ 矢板は年数が経つと錆びて、塩水が河岸に浸透する恐れがある。
開削による海風	◆ 河口部が斜めとなることで、冬季の波浪が放水路に侵入した際の影響はどうか(2件)
その他	◆ その他 3件(わかりやすい説明、海拔の確認、産業団地への影響)

分類	意見・質問(頸城区地域協議会) (4件)
圃場整備	◆ 放水路と交差する用水の取り扱いはどうか。
その他(放水路構造)	◆ 分派点に堰は設けるのか。放水路は海水で覆われることとなるのか。 ◆ 河口部に堰を設置するのか
その他(スケジュール)	◆ 出水時の水害を懸念しているが、工事完成までの期間のうち今はどのあたりの段階か。

4. 意見用紙、メール等による意見について

- 意見用紙は説明会会場での回収、郵送、FAX、HPからのメールにより寄せられた。(計24通)
- 他に、直接高田河川国道事務所にお越しいただいたり(来所 3人)、電話によりご意見をいただいた(電話 2回)

分類	意見用紙、メール等による意見・質問 (31件)
概略ルート案に対する意見 (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Bルート支持の意見が5件 (地域の分断も少なく、コストも抑えられると思われる) ◆ Bルートを支持しない意見が2件 (Bルートのメリットがあまりないように思う。津波と塩害対策を考えると高速道路の西側が良い) ◆ Bルートが判断できない意見が3件 (Bルートで決定なのか。優位ではわからない。どのルートになるにしても早く決めてほしい。地下洞道が一番近いが大丈夫か。) ◆ 整備計画ルートを支持する意見が2件。(土地を活用してほしい。神社仏閣は動かさないでほしい。)
地域住民の生活	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 早期にルートを公表し、該当者の移転先の場所を示してほしい。 ◆ 火力送電線計画と並行して進めば不動産会社も分譲しなかったと思われる。移転先は住民の希望を尊重してほしい。 ◆ 放水路の重要性は理解できるが、今後の生活設計もあるため、具体的なイメージ提示、ルート決定後のスピード対応等を希望します。代替地、補償等は、誠意ある対応をお願いします。 ◆ 要望3件(避難場所の対策、通学路の安全確保、住みやすい地区づくり)
圃場整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 台風や高波のとき田んぼに海水がはいり田んぼが永久にダメになってしまう不安がある。 ◆ 海水を入れる場合は、水田に海水が入らない逆止弁等の対策をしてほしい。
津波遡上	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放水路ルートには低海拔の田圃地帯があるので津波を考慮した堤防高さ設計としてほしい。
地下水への影響	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地下水脈の分断でかんがい井戸への影響はあるのか。
開削による海風	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 整備後もモニタリング等を行い、整備案とのデータの剥離や検証を要望。(◆地下水も同様に)
その他(放水路構造)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放水路の水位上昇に伴い南川用水・瀧川・排水路が放水路の流れなくなるので検討してほしい。 ◆ 河口堰、水門の設置、排水ポンプの設置、橋設置、放水路内の堤防のコンクリート化を要望する。
その他(スケジュール)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放水路の完成は何年先になるのか。
その他(事業賛成意見)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放水路は必要だと思う。 ◆ 河川整備が不十分であり、分水する案は賛成である。
その他(放水路事業についての反対意見)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ A・Bルートの条件比較が異なるのでやり直すこと。海へまっすぐでないで洪水の危険が増加するので、Bルートは廃棄すること。町内分断は橋で解消できるので整備計画ルートで進めること。環境悪化は目に見えるので放水路は作らないのが一番。流域委員会で決定し、それで終わりではなく、一人でも反対がいれば計画は断念すること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 瀧川の改修工事を並行してぜひやってほしい。

分類	電話、来所による意見・質問 (11件)
地域住民の生活	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 概略ルートを早く決めてほしい(2件) ◆ 家屋移転となった場合の補償はどうか ◆ 家がルートにかかるか知りたい(3件) ◆ 一部がかかっても一筆すべて買収してもらえるのか
その他(スケジュール)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ いつ頃用地買収が始まるのか ◆ 期間はどれくらいか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業は賛成である。早く進めてほしい。 ◆ 説明会についての問い合わせ等

来所による意見



5. 意見とりまとめと対応

【意見のとりまとめ】

- 意見の多数は、ルートを早期に決定し、必要な用地幅・今後のまちづくりやスケジュール・津波や海水による影響・圃場への影響・地下水影響など、詳細設計レベルの情報を早く示して欲しいという結果であった。
- 「Bルート(西側ルート)が優位であると判断」に対しては、少数ではあるが概略ルート案の比較選定に対し意見をいただいたが、評価項目やその優位性を改めるような意見ではなかった。

【意見への対応】

- 詳細な計画に関する具体的な意見・質問が多数あったことを踏まえ、放水路計画の検討を進め、早期に計画をお示しするよう努める。
- また、定期的に進捗状況の報告を行うことで、地域住民皆様の不安を払拭できるよう対応する。
- 引き続き、丁寧な説明を行いながら意見・要望を把握して、合意形成を図る。